

あれから1週間  
マッサージは自分でするようになって  
我慢をしていたが



何気ない動作で  
へんな気持ちになり  
部屋にこもることが多くなっていた



『ア○チラ、最近調子悪そうだけど大丈夫か?』



『え、あ、あぁうん!!  
大丈夫だよ!  
ちよつと食欲ないかなって』

『そ、そうか  
あんまり無理するなよ』



『ちよつとア○チラちゃん!?  
大丈夫ですか!  
だれかっ!!』

うっ...

うっ...

ガタッ

『ダメだ……体調がどんどん悪くなってる  
マツサージ、行かなきゃ……  
でもお金……』



『めんなさー♡めんなさー♡  
マツサー♡♡あの♡  
その♡♡♡たりな♡♡♡♡』

『あらら、こんなになつて  
お金は持ってきたかな?』

『うん♡うん♡♡♡  
だんちの♡♡♡  
だげ♡♡おかね♡  
あゝ♡♡』

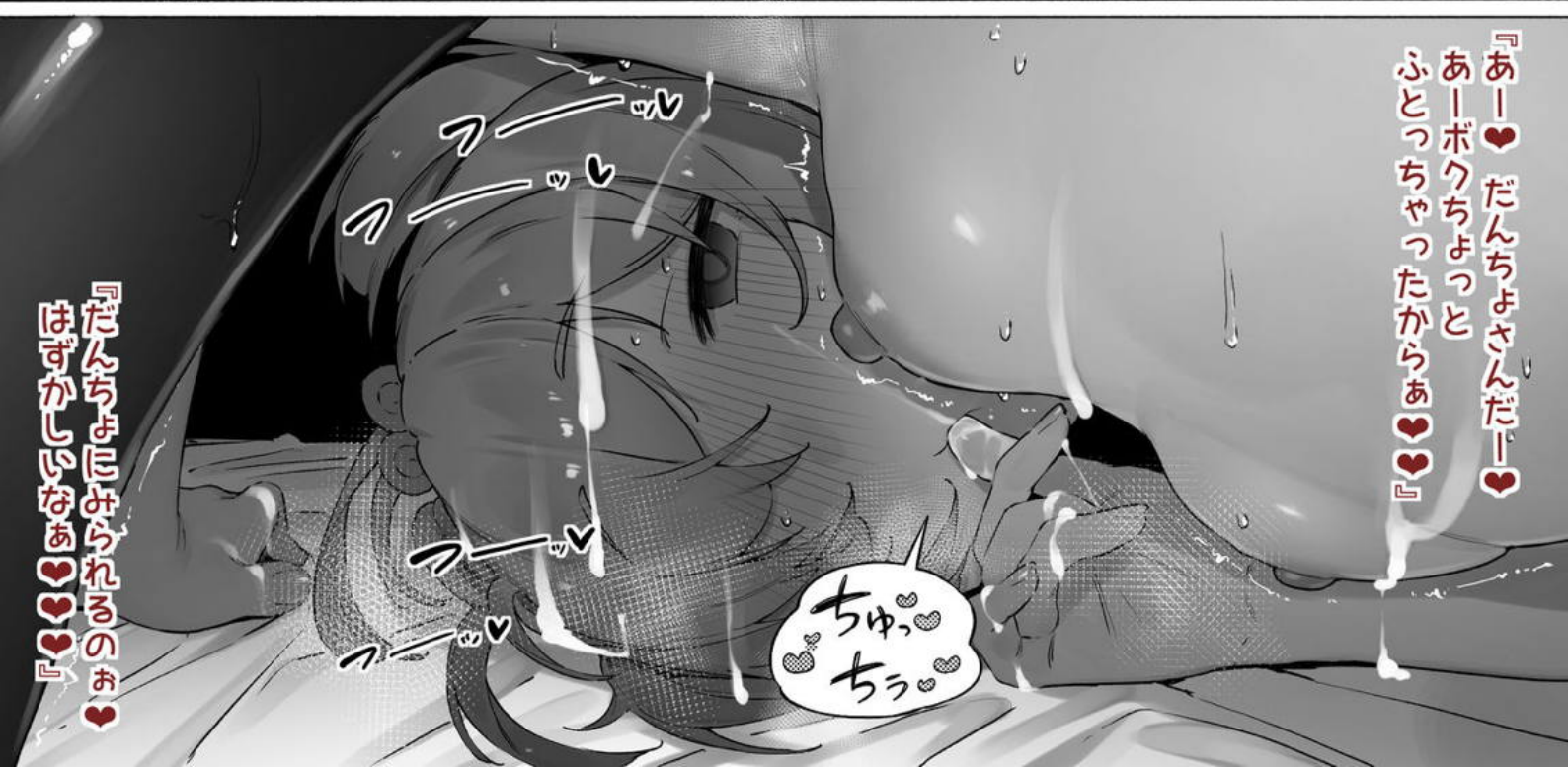
『わるい子だね  
たっぷりかわいがってあげるから  
おはいり』











「あー♥だんちよさんだー♥  
あーボクちよつと  
ふとっちやっただからあ♥♥」

『だんちよにひられるのお  
はずかしいなあ♥♥♥♥』









